

とちぎ蔵の街美術館へようこそ！

とちぎ蔵の街美術館は、おおよそ200年前の江戸

時代の蔵を美術館に作り替えた建物です。「おたす

け蔵」とよばれ、栃木の歴史を伝える大切な文化

遺産です。



美術館でのお約束

- ★作品にさわらないように気をつけよう。
- ★走るとあぶないよ。歩いてまわろう。
- ★お話は小さな声で。
- ★メモはえんぴつを使ってね。
- ★美術館の中では食べたり飲んだりしないでね。

浮世絵ってなあに？

浮世絵は、江戸時代から明治時代にかけて、情報を得るメディアとして、現在の新聞やテレビのような役割をしていました。「浮世」には、「当世」・「今の時代」という意味があり、浮世絵は当時の最先端のニュース、流行を伝えています。

浮世絵には何が描かれているの？

- ・評判の美人（美人画）…今のグラビアやファッション雑誌
- ・観光スポット（名所絵）…今のガイドブック
- ・歌舞伎役者（役者絵）…今のプロマイド（アイドルの写真）
- ・相撲力士（相撲絵）…今のプロマイド（アイドルの写真）
- ・明治時代の新しい風俗（開化絵）…今の新聞や雑誌 などなど



2017年6月27(火)～8月20日(日)

キッズガイド

なまえ	美術館にきたひ
-----	---------

とちぎ蔵の街美術館 栃木市万町 3-23 ☎0282-20-8228

浮世絵ができるまで

浮世絵には、筆で描いた「肉筆浮世絵」と、版を摺った「浮世絵版画」があります。肉筆浮世絵は1点ものですが、版画はたくさん作ることができるため、多くの人を楽しみました。

